

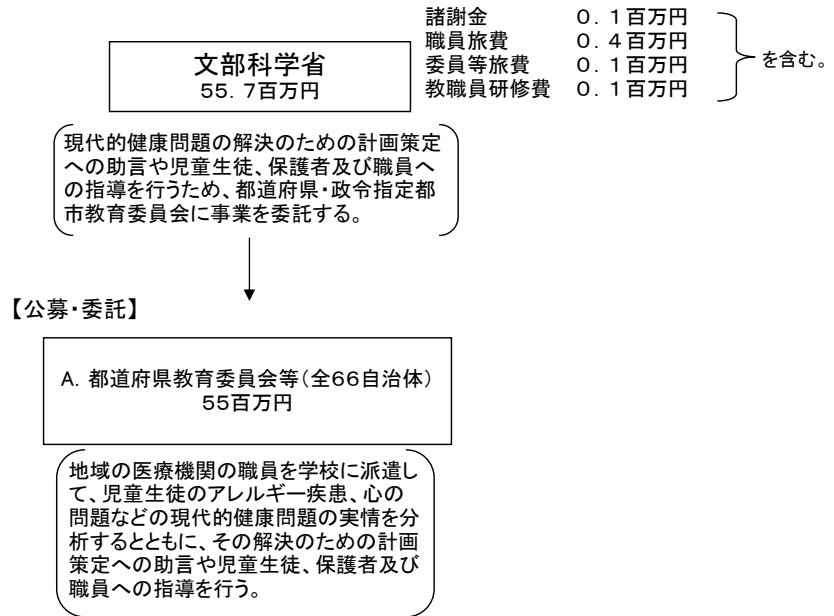
平成23年行政事業レビューシート

(文部科学省)

事業名	学校保健課題解決支援事業		担当部局庁	スポーツ・青少年局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成24年度		担当課室	学校健康教育課		学校健康教育課長 平下文康		
会計区分	一般会計		施策名	II-4 健やかな体の育成及び学校安全の推進				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	学校保健安全法第10条		関係する計画、通知等	学校保健法等の一部を改正する法律案に対する附帯決議(平成20年6月10日参議院文教科学委員会) 中央教育審議会答申(平成20年1月17日)				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	児童生徒の現代的健康課題に対応するため、地域の実情を踏まえた医療機関等との連携など課題解決に向けた計画の策定、それに基づく具体的な取組に対して支援を行うとともに、その結果等について全国的な発信を行う。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	地域の医療機関の職員を学校に派遣して、児童生徒のアレルギー疾患、心の問題などの現代的健康問題の実情を分析するとともに、その解決のための計画策定への助言や児童生徒、保護者及び職員への指導を行うため、都道府県・政令指定都市教育委員会に事業を委託する。また、各都道府県・政令指定都市教育委員会の取組の成果を共有したり改善策を検討したりするための全国協議会を開催する。							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	55.7
		補正予算						
		繰越し等						
		計						55.7
	執行額							
	執行率(%)							
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	20年度	21年度	22年度	目標値(24年度)	
	健康課題を把握し、児童生徒の健康増進に資することを目標とした事業であり、当該目標は数値で定量的に示すことは困難。		成果実績 達成度	自治体 %				
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込	
	事業を実施する都道府県等の数		活動実績 (当初見込み)	自治体			()	※24年度の活動見込である (66)
単位当たりコスト	833,000(円/都道府県等)		算出根拠	単位当たりコスト=55百円(委託費)/都道府県・政令指定都市数(66)				
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	諸謝金	—	0.1百万円					
	職員旅費	—	0.4百万円					
	委員等旅費	—	0.1百万円					
	教職員研修費	—	0.1百万円					
	初等中等教育等振興事業委託費	—	55百万円					
	計		55.7百万円					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	—	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	—	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	—	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	—	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>・児童生徒の現代的健康課題に対応するため、地域の実情を踏まえた医療機関等との連携など課題解決に向けた計画の策定、それに基づく具体的な取組に対して支援を行うという観点から事業案を作成しており、既存事業との重複がないことを確認している。</p> <p>・本事業では、各都道府県・政令指定都市教育委員会の取組の成果を共有したり改善策を検討したりするための全国協議会を開催することとしており、児童生徒の現代的健康課題に対する取組結果の全国的な発信という目的に向けて効果的な事業である。</p> <p>・中央教育審議会答申(平成20年1月17日)にも、「市町村レベルにおいて、教育委員会と保健部局などの行政機関や地域の学校医・学校歯科医・学校薬剤師の関連する団体などが連携し、子どもの現代的な健康課題を検討し対応する場の設置が求められている」とあり、本事業における地域の実情を踏まえた医療機関等との連携など課題解決に向けた計画の策定、それに基づく具体的な取組に対して支援を行うという目的には妥当性がある。</p> <p>・本事業は、学校、家庭、関係行政機関、医療機関などの連携の強化を図り、児童生徒の現代的健康課題に適切に対応するための取組支援をすることで児童生徒等の健康の保持増進に寄与するものであり、当省で行う必要がある。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
		<p>本事業は、定量的な成果目標を立てることは困難であるが、事業効果について適切に検討されており、広く国民のニーズに応える事業であると考えられることから、当省の事業として実施することが必要と認められる。</p>	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

※当該資金の流れは、予算積算上において想定される資金の流れを記載したものであり、実際の資金の流れとは異なる可能性がある。



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位: 百万円)

A.都道府県教育委員会等			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
委託費	0. 83百万円×66自治体	55			
計		55	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の
 金額が支出されている者につい
 て記載する。費
 目と使途の双方
 で実情が分かる
 ように記載)